

ふくどみ
白石町福富農地・水・環境保全組織管理協定運営委員会（白石町）

- 本地域は、佐賀県の西南部、白石町の東部に位置しており、昭和初期時代から進められた干拓事業により整備された農地が広がる水田地帯である。
- 農業用施設（水路、ゲート、揚排水機場）は、圃場整備事業完了から30年以上が経過し、泥土の堆積、施設の老朽化が進み、営農にも支障を来たしていた。
- 「広域活動組織」として、旧福富町を一つの組織として活動に取り組む中、事務局に専従の事務職員を配置することにより、事務作業（経理、書類作成）の軽減を図っている。

【地区概要】

- ・取組面積 1,409.4 ha
（田：1,367.7 ha、畑：41.7 ha）
 - ・資源量
開水路：132km、パイプライン：215km、
農道：183km
 - ・主な構成員
農業者、非農業者、自治会、水利組合
 - ・交付金 127,842,384円（H27）
- （農地維持支払及び資源向上支払（共同）66,877,784円
資源向上支払（長寿命化）60,964,600円）

活動開始前の状況、
取組を開始する経緯

- 農業用施設は、圃場整備事業完了から30年以上が経過し、施設の老朽化（水管橋・ゲートの腐食）が著しかった。
- 活動開始前は、他事業を活用し、土地改良区を中心に施設の維持管理等を行っていた。
- 町の助言もあり、H24から旧福富町全体を一つの組織として、活動を開始した。



白石干拓地（左：S.39頃 右：現在）

主な取組内容

- 草刈り・泥上げ（5月、10月）各地区で行っている。
- 施設の長寿命化の工事（年間）業者委託で指名競争入札。広域組織なので、福富地区全体での見積と比較でき、コストダウンが可能。
- 農作物の栽培体験（8～11月頃）事務局とPTAを中心に小学生にトウモロコシ等の栽培体験をさせている。
- 施設（水路・農道）の機能診断（4月）機能診断の結果を基に、ヒアリングを行い、地区ごとの予算の公平性を保つようになっている。運営委員会を定期的開催し、集落間の連携を図っている。



取組の効果や現状、
今後について

- 事務作業（経理、書類作成）について、専従の事務職員が行うことにより、構成員の負担軽減が図られている。



- 農村環境保全活動（啓発・普及）について、次世代を担う子供たちに体験学習を通じて、地域資源及び農業の大切さを伝えていきたい。

